



滝田 一郎 議員

大田原市民健康検査
の充実について

質問(滝田一郎議員)
子宮頸がん検査における細胞診とHPV-DNA検査の併用検査の有効性及び導入について伺います。

答弁(保健福祉部長)
子宮頸がんの原因が、ヒトパピローマウイルス(HPV)の持続感染であり、従来の細胞診断とHPV-DNA検査を併用して実施することで、がんと確定される前の状態で発見する

ことができ、導入する自治体が増えてきております。国においても、平成25年度から7年間の追跡調査を行い、有効性の研究が開始されています。

現在がん検診は、平成10年度から一般財源化され自治体の判断に委ねられており、国では有効性のある検査方法を指針で示していますが、自治体間で検査項目の格差が出ているのが現状です。

がん検診は、医師会の協力や相談体制がないと有効な検査でもその後の受診者管理、経過観察、治療に結びつけることが困難であることから、これらを含め本市としても導入を前提に、対象とする年齢、費用対効果等を見極めながら判断していく考えです。



黒澤 昭治 議員

6次産業の推進について

質問(黒澤昭治議員)
6次産業化を取り入れた体験教室について伺います。

答弁(市長)
地域経済の活性化を図るためには、都会や海外からの人の流れを創出することが重要です。本市では、豊かな自然や地域の伝統文化、生活様式などを生かし、農家民泊や農業体験等を通して都市と農村の交流を促進し、農産物等の消費拡大・

地域産業の振興による地域の活性化を図ることを目的としたグリーン・ツーリズム事業を推進しています。この事業の中心を担う株式会社大田原ツーリズムが旅行者に提供するプログラムの中には、「農業の6次産業化」に関連した体験プログラムも用意されています。

この体験プログラムの中で、地域で6次産業化に取り組む農業者と連携を図り、さらなる

6次産業化の推進に繋がるような体験教室のプログラムを作成し、都会から訪れる旅行者の要望に合わせ実施できるように、市としても株式会社大田原ツーリズムに提案していき、都会から人を呼び込む施策の充実を図って、6次産業化の促進に繋げていきます。